

自然災害等のリスクに 備えるためのチェックリストと 農業版BCP作成マニュアル (北海道版)



令和3年(2021年)3月

北海道農政部生産振興局農産振興課

農業用ハウスの利用については、水田転作による高収益作物導入推進等により、本道園芸作物の生産においては欠かせない存在となっ
ています。

近年、気象災害(台風・大雪)により多くのハウス被害が発生しているところであり、「自然災害等のリスクに対する備えの意識」を向上する必要性が高まっています。

北海道では、令和3年1月27日付けで農林水産省が策定した「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP」の周知等について」を基本とし、本道の農業者の皆様が取り組みやすいものになるよう、「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP作成マニュアル(北海道版)」を作成しました。

「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP作成マニュアル(北海道版)」を活用し、平時からリスクや大雪等の自然災害に備えていただくとともに、被災後の早期復旧・事業再開の観点から対策しておくべき事項等を「見える化」したBCPを農業者の皆様が作成することで、今後の自然災害等に備えましょう。

また、被災した場合のリスク管理として、収入保険や園芸施設共済等に加入しましょう。

【本資料に関する問い合わせ先】

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目

北海道農政部生産振興局農産振興課野菜係

TEL(代表)011-231-4111(内線27-730) (ダイヤルイン)011-204-5436

FAX 011-232-4132

E-mail nousei.nosan1@pref.hokkaido.lg.jp

農業版BCPとは？

農業版BCPとは、農業を継続するために必要な事項を「見える化」した計画のことです。

事業継続計画（BCP）とは、自然災害や感染症、大事故が発生した場合においても、中核となる事業を継続させたり、可能な限り短時間で事業を復旧させたりするための方法、手段などをあらかじめ取り決めておく計画であり、これの農業版を指します。

BCPは決して難しいものではなく、経験として既に備わっていることも少なくありません。それらを「見える化」することで、自然災害等への備えとなるだけでなく、平常時における自らの経験を見直し、改善にも繋がります。

農業版BCPの効果



想定外の災害等への的確な対応や早期の復旧が可能となります。

農業版BCPを策定し、日頃から見直し・改善等を行うことで、想定外の災害等が発生した際にも的確な対応や早期の復旧が可能となります。

自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト(北海道版) 【リスクマネジメント編】の活用方法

平常時からリスクに備える

チェックリスト「リスクマネジメント編」の「リスクの把握」「予防」を確認することで、自然災害等のリスクに対して、防災・減災の観点から備えておくべきことについてチェックできます。

台風や大雪等の直前対策

チェックリスト「リスクマネジメント編」の「直前対策」を確認することで、台風や大雪等の災害に対して直前に備えておくべきことについてチェックできます。

チェックリスト【リスクマネジメント編】は次のページ



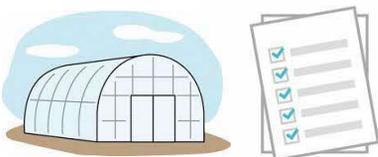
自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト(北海道版) 【事業継続編】の活用方法

被災後の早期復旧・事業継続に向けて

チェックリスト「事業継続編」を確認することで、被災後の早期復旧や事業継続の観点から、インフラやヒト・モノ等、事前に被害を想定し、対策しておくべきことについてチェックできます。

さらに、各チェック項目について、ご自身の経営に合わせた具体的な内容を当てはめていくことで、農業版BCPを作成できます。

チェックリスト【事業継続編】は5ページ



自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト（北海道版）

リスクマネジメント編

点検年月日 年 月 日

記入者氏名

項目	番号	チェック項目	はい	いいえ	(いいえの場合) 対応期限			
リスクの把握	1	自身の営農活動における、自然災害、その他のリスク(新型コロナウイルス感染症等)とその影響について考えたことはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する			
	2	自身の地域の自然災害リスクについてハザードマップで確認したことはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する			
	3	新型コロナウイルス感染症について、「農業関係者における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」等のガイドラインを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する			
予防	リスク全般に対する事前の備え	4	日頃から気象情報・警報・注意報をチェックしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		5	緊急時の連絡体制や出勤体制を整備していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		6	災害時の停電に備え、非常用電源を確保していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		7	農業用ハウスの災害対策・復旧方法等について、「農業技術の基本指針」等のマニュアルの参照・研修等により知識を身につけていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		8	農業用ハウス、非常用電源等の施設・設備の保守点検、また、傷んだ箇所の修復や補強等を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		9	防風ネット等を準備・保管し、想定外の強風に耐えうる準備をしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		10	集排水路等の保守点検、また傷んだ箇所の修復や補強等を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		11	トラクターやスピードプレイヤー等の農業機械や各種農機具などへの被害を防止するための避難場所を確保していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		12	収入保険の補償内容を理解するとともに加入していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
		13	園芸施設共済などの補償内容を理解するとともに加入していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
直前対応	台風等の強風に対する備え	共通	収集情報	最新の気象情報、警報、注意報をチェックしましたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		周辺整備		飛来が予想されるものをハウス周辺から取り除いていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				施設周辺にあるゴミなどは取り除いていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				燃料タンク等はしっかりと固定していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		停電対策		タンクにかん水用水を貯水しましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				自動換気(天窓・側窓)・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場は準備できていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				(非常用発電機を所有している場合) 非常用発電機の動作点検等を実施していますか。 (非常用発電機を所有している場合) 非常用発電機を養液栽培装置や環境制御装置に接続していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		農業用ハウスの破損倒壊対策		被覆材のたるみや破れはありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				換気部(サイド部、谷部)、被覆材の隙間等の風の吹きこみ口となる箇所はありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みはありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				ブレースや筋交いの留め金具の緩みはありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				基礎部、接続部分などの腐食・サビなどはありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				準備していた斜材や中柱の設置などの補強をしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		大雪に対する備え	降雪時対策		ハウス出入口の補強や戸締りはしましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
					(換気扇のあるハウス) 換気扇を回して排気し、ハウス内を減圧する準備はできていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	作物を栽培していないハウスは被覆資材を外しましたか。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
融雪対策			被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物はありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		雪の滑落を妨げる防風ネットや外部遮光資材等が展張されていませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		暖房機の燃料残量は十分にありますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		暖房機は正常に作動するか確認していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

上記チェック内容を確認しました。

確認年月日 年 月 日

確認者所属・職・氏名

自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト（北海道版）

事業継続編

点検年月日 年 月 日

記入者氏名

項目	番号	チェック項目	はい	いいえ	(いいえの場合) 対応期限		
基本方針 の策定	1	災害発生時の基本方針を定めていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
	重要業務・目 標復旧時間の 検討	2	緊急事態時において最優先で復旧を行う業務(重要業務)は決まっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		3	重要業務の目標復旧時間を明確にしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
★ 次の4～10の場合における重要業務への影響とその対応(代替手段等)を想定していますか？							
被災後 の事業 継続	イン フラ	4	電気・水道・ガスに支障が生じた場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		5	PCや電話等が使えなくなった場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		6	道路・交通網に支障が生じた場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
	経営 資源	7	負傷などで業務ができなくなった場合や家族構成員・雇用者などがほ場等に来られなくなった場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		8	農業用ハウス、トラクターやスピードプレイヤー等の事業に不可欠な施設・設備・農業機械等が損壊等により使用できなくなった場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		9	ほ場や作物に重大な被害があった場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		10	復旧等に費用が発生し資金繰りが逼迫する場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
	事前 対策 の実施	ヒ ト	11	災害発生時に業務時間内外問わず、安否確認など従業員と連絡をとる手段はありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する
			12	ほ場、園地等の安全が保てない場合の避難場所は決めてありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する
			13	家族構成員や雇用者の欠員発生時に代替要員を確保できる体制になっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する
14			災害発生時の出勤や帰宅に関するルールを定めていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
モ ノ		15	農業用ハウス、トラクターやスピードプレイヤー等の不可欠な施設・設備や農業機械等が使用できなくなった場合の代替手段や復旧手段を確保していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		16	燃料・肥料・種苗・農薬等の事業において不可欠な生産資材の調達に支障が生じた場合の代替手段を確保していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		17	非常時用の食料品や医療品、ヘルメット等の防災グッズは十分な量が備えられていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
テ ィ ネ ー セ ッ ト		18	非常時における運転資金等のための手元資金の備えはありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		19	収入保険の補償内容を理解するとともに加入していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
		20	園芸施設共済などの補償内容を理解するとともに加入していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する	
情報	21	取引先・関係機関(JA、農業共済組合等)の連絡先・担当者等の重要情報は整理され、災害時でも活用できる状態になっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
連 地 携 域	22	事業の復旧等に際し、地域(行政・JA等)や取引先との協力体制はできていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
緊急時の 体制整備	23	災害発生時における責任者等とその代理人を決めていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		
	24	災害発生時における時期・状況に応じた具体的な復旧手順と役割分担はできていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	までに 対応する		

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者等と話し合い、繰り返しチェックリストによる確認を行うことが重要です。

上記チェック内容を確認しました。

確認年月日 年 月 日

確認者所属・職・氏名

農業版BCPの作り方

農業版事業継続計画書(BCP)の様式に沿って作成してみましょう。

1 基本方針

- ・ 災害発生時等、緊急時に対応するための基本方針を記載します。
(例)①人命を守る、②取引先への出荷継続、③従業員の雇用を守る など

2 重要業務と目標復旧時間

- ・ 災害発生時、最優先すべき業務と目標復旧時間を記載します。
 **「1 基本方針」を達成するために必要な業務が最優先となります。**
また、目標復旧時間は、被害を最小限に抑えることができる時間を設定しましょう。

3 インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

- ・ 災害発生時、電気やガスなどのインフラが被害を受けた際に想定される重要業務への影響とその対応方法(代替手段等)について記載します。
 **重要業務を達成するために必要な手段等を記載しましょう。**

4 事前対策の実施状況

- ・ 事業継続のために必要なヒト・モノ・カネ・セーフティネット等の経営資源について、災害発生に備え、事前に取り組む内容を記載します。
 **自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト(北海道版)を参考に、対応できている項目は改めて記載し、対応できていない項目についても事業継続のために必要な場合には記載し、緊急時に備えましょう。**

5 緊急時の体制

- ・ 災害等の緊急事態発生時において適切に対応できるよう、各項目について担当者やルールなどの体制を決めて記載します。
 **重要業務を達成するための具体的な手順をあらかじめ決めましょう。**
また、記載して終わりではなく、定期的に担当者及び担当業務の確認・話し合い等を行いましょう。

【注意点】

少なくとも年に1回は見直しを行い、備えが十分か確認しましょう。

農業版事業継続計画書（BCP）

作成・改訂日	従業員・家族共有日 <small>（原則策定・改訂日から1ヶ月以内）</small>	次回改訂予定日 <small>（原則1年毎に改訂）</small>	
--------	---	--------------------------------------	--

1 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

①	
②	
③	

2 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	
目標復旧時間	

3 インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気		
ガス		
水道(農業用水含む)		
情報通信		
交通		
ほ場等		
その他		

4 事前対策の実施状況と事業継続のための取組

分類	内容	取組内容	
ヒト	安否確認手段	連絡体制	
	避難場所		
	欠員時の対応		
	その他		
モノ	設備使用不可時の対応		
	調達支障時の対応		
	その他		
カネ	手元資金		
	その他	備考	
セーフティネット	保険加入		
	その他	備考	
情報	重要情報保管場所		
	PC等使用不可時の対応		
	その他		
地域連携			
その他			

5 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)																		
【初動対応フェーズ】(目安: 緊急事態発生～24時間以内)	【事業継続フェーズ】(目安: 初動対応完了後～)																		
○状況確認	○重要業務継続の具体的方法																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">確認対象</th> <th style="width: 80%;">担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員・従業員</td> <td>家族を含めた安否確認</td> </tr> <tr> <td>施設・機械</td> <td>ハウス・農業用機械等</td> </tr> <tr> <td>その他事業資源</td> <td>肥料・農薬等の在庫</td> </tr> <tr> <td>取引先</td> <td>状況確認</td> </tr> <tr> <td>インフラ</td> <td>電気・ガス・水道・交通等の状況</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	確認対象	担当者	役員・従業員	家族を含めた安否確認	施設・機械	ハウス・農業用機械等	その他事業資源	肥料・農薬等の在庫	取引先	状況確認	インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況	その他		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">対応手順</th> <th style="width: 50%;">担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 150px;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	担当者		
確認対象	担当者																		
役員・従業員	家族を含めた安否確認																		
施設・機械	ハウス・農業用機械等																		
その他事業資源	肥料・農薬等の在庫																		
取引先	状況確認																		
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況																		
その他																			
対応手順	担当者																		
○備蓄品の状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">救急箱</td> <td style="width: 30%;">その他:</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>飲料水</td> <td>その他:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>その他:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヘルメット</td> <td>その他:</td> <td></td> </tr> </table>	救急箱	その他:		飲料水	その他:		食料	その他:		ヘルメット	その他:								
救急箱	その他:																		
飲料水	その他:																		
食料	その他:																		
ヘルメット	その他:																		
○出勤・帰宅ルール																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">状況</th> <th style="width: 90%;">原則ルール</th> </tr> <tr> <td>出勤時</td> <td></td> </tr> <tr> <td>在宅時</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	状況	原則ルール	出勤時		在宅時		その他												
状況	原則ルール																		
出勤時																			
在宅時																			
その他																			

BCP作成後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。
また、「1年に1回は見直す」「作成したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。

記載例

農業版事業継続計画書（BCP）

作成・改訂日	2021年4月1日	従業員・家族共有日 (原則策定・改訂日から1ヶ月以内)	2021年4月15日	次回改訂予定日 (原則1年毎に改訂)	2022年4月1日
--------	-----------	--------------------------------	------------	-----------------------	-----------

1 基本方針
緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

①	人命を守る
②	取引先へのトマトの出荷を行えるようにする(トマトの供給責任を果たす)
③	従業員の雇用を守る

2 重要業務と目標復旧時間
以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	収穫・出荷調整
目標復旧時間	48時間以内

3 インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	灌水・施肥・温度管理ができない	自家発電機(事務所保管)の利用
ガス	影響なし	-
水道(農業用水含む)	灌水ができない	井戸水・貯水タンク・河川水のくみ上げポンプ・雨水の使用
情報通信	取引先へ連絡がとれない	携帯電話で対応可能
交通	出荷ができない	業者と事前に配送の代替ルートを調整
ほ場等	農産物に被害が生じる	可能なものに対して早期収穫を検討
その他		

4 事前対策の実施状況

分類	内容	取組内容
ヒト	安否確認手段	携帯電話、LINE 連絡体制 緊急連絡網により安否確認連絡
	避難場所	〇〇小学校
	欠員時の対応	地域の農業者とあらかじめ協力体制について話し合いを行う
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	非常用電源の稼働、(非常用電源が確保できない場合)手灌水、ストーブ等で対応
	調達支障時の対応	種苗・肥料・農薬については常時1作分のストックがある状態しておく
	その他	被覆資材とハウス用パイプは全ほ場面積の5%分を確保しておく
カネ	手元資金	〇〇万円(X銀行)、〇〇万円(Y社売掛金)
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	収入保険、園芸施設共済、火災保険(Z損保)加入
	その他	備考 保険証券は事務所金庫に保管
情報	重要情報保管場所	クラウドを利用(パスワードは社長が管理)
	PC等使用不可時の対応	バックアップデータを社長自宅にて保管(バックアップ最終更新日2020/4/1)
	その他	関係機関の連絡先や担当者を把握し、連絡担当者が携帯電話等に保管
地域連携		JAと被災時の出荷対応について協議済み
その他		

5 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
社長(専務)	専務(Aさん)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員	家族を含めた安否確認 社長
施設・機械	ハウス・農業用機械等 Aさん
その他事業資源	肥料・農薬等の在庫 Bさん
取引先	状況確認 専務
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況 Bさん
その他	

○備蓄品の状況

救急箱	2セット	その他:簡易トイレ	20セット
飲料水	2L×20本	その他:懐中電灯	5本
食料	従業員数×7日分	その他:毛布	5枚
ヘルメット	5個	その他:灯油	1L×10缶

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	【原則】事務所内待機
在宅時	【原則】自宅待機(極力連絡をとれる状態に)
その他	【原則】一番近くの安全な場所で待機

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①現状把握(発生～36時間以内) ・農業用ハウス及トマトの被害確認 ・農業機械(運搬機等)の被害確認 ・対応可能従業員の確認	責任者:社長 Aさん Bさん 専務
②作業準備(発生～42時間以内) ・農業用ハウスの資材確保、復旧体制構築 ・農業機械の修理準備 ・従業員への指示 ・取引先〇〇への現状報告	責任者:社長 Aさん Bさん 社長、専務 社長
③収穫・出荷調整作業(発生～48時間以内) ・農業用ハウスの復旧(ハウス被災時) ・収穫、出荷調整作業の実施 ・収穫状況に応じた出荷対応方針決め ・取引先〇〇への出荷報告	責任者:社長 全員 Aさん、Bさん 社長 社長

BCP作成後の運用
日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。
また、「1年に1回は見直す」「作成したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。

農業用ハウスの被害軽減に向けて

- 1 農業用ハウスの保守点検・管理を日常的に行いましょう。
- 2 台風時期前と降雪期前の年2回程度「農業用ハウス保守点検チェックシート」で点検を行い、農協など関係機関の確認や助言を受けましょう。
- 3 老朽化したハウスは、利用状況を勘案し、補強対策を講じたり、計画的な建替を検討するなど、安定的に園芸作物を生産できるようにしましょう。
- 4 リスク管理として、園芸施設共済や収入保険などに加入しましょう。

農業用ハウスの被害防止に向けた対策については、次の通知や資料などを参考にしてください。

- 平成30年10月30日付け農林水産省生産局園芸作物課長通知「大雪による園芸施設被害の防止に向けた技術指導の徹底について」及び平成31年1月10日付け農林水産省生産局園芸作物課長通知「農業用ハウスの災害被害防止に向けた技術指導の徹底について」
・農林水産省HP〔施設園芸の台風、大雪被害防止と早期復旧対策内〕
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/sisetsu/saigaitaisaku.html>
- （一社）日本施設園芸協会HP 「平成26年2月の大雪被害における施設園芸の被害要因と対策指針」<http://www.jgha.com/files/houkokusho/26/yuki.pdf>
- 農研機構HP「寡雪地帯における温室の雪害対策簡易手引き」
http://www.naro.affrc.go.jp/pubulicity_report/publication/files/tebiki20160215_1.pdf
- JA全農 生産資材部「施設園芸用ハウス 自然災害対策マニュアル」
http://www.agri.zennoh.or.jp/N_index.aspx#1
- 日高振興局日高農業改良普及センターHP
「大雪によるハウス倒壊被害の解析と今後の被害防止対策」
<http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/gijyutujyouho/180205setugai.pdf>
- ニューカントリー2019. 1月号技術特集「過去の事例に学ぶ～ハウスの大雪対策」、「過去の事例に学ぶ～ハウスの台風対策」（道農政部生産振興局技術普及課職員執筆）

※他県でも農業用ハウスに関する被害防止に関する技術対策の資料がHPで公開されています。

農業用ハウスの被害軽減へのポイント(台風・強風対策編)

1 情報収集やチェックを常に行いましょう

- ・気象情報に十分注意し、雨や風に対する備えに万全を期しましょう。
- ・風道およびその影響による被害を想定し、ハウスの補強(筋交い、タイバーなど)や基礎部分の強化、防風網の設置など事前対策を十分に練りましょう

2 周辺整備を行いましょう

- ・ハウス周辺の飛来物や周辺のゴミによる被害を防止するため、常日頃より片づけをしておきましょう。
- ・燃料タンク等はしっかりと固定しておきましょう。

3 台風・強風時の破損・倒壊対策を講じましょう

- ・瞬間最大風速30メートルを超える予想がある場合は、ハウスパイプを守ることを最優先にして、被覆資材を外すことも検討しましょう。
- ・風の吹き上げに備えて、ハウスバンドや取付け金具の点検、締め直しなどを行いましょう。
- ・被覆フィルムを押さえるために防風ネットによる補助的被覆の検討や補助支柱の設置を行いましょう。



道内での強風被害



補強事例(Xタイバー)

農業用ハウスの被害軽減へのポイント(大雪対策編)

1 情報収集やチェックを常に行いましょう

- ・気象情報に十分注意し、大雪や風雪に対する備えに万全を期しましょう。
- ・多雪時に備え、ハウスの補強や除雪作業に支障が起きないように事前対策を十分に練りましょう。

2 周辺整備を行いましょう

- ・ハウス周辺やハウス間の除雪作業に備え、障害物や突起物などを確認しておきましょう。
- ・暖房機が装備されている場合は、保守点検を行い、残油量を確認しておきましょう。

3 大雪時の破損・倒壊対策を講じましょう

- ・ハウスの構造強化を検討しましょう。(筋交いやタイバー、中柱の補強など)
- ・ハウス肩まで積雪した場合は、側面を除いてから雪下ろししましょう。
- ・暖房機が装備されている場合は、室温を高め落雪を促進させましょう。
- ・暖房機が装備されていない場合は、地熱の放射による室温上昇やポータブルストーブなどを使用するなど室温を上昇させるための対策を講じましょう。(使用の際は不完全燃焼や一酸化炭素中毒に十分注意しましょう。)



道内での大雪被害



補強事例(中柱)

園芸施設共済の紹介

1 園芸施設共済の概要

- ・リスク管理として園芸施設共済等の保険加入を行いましょう。
- ・園芸施設の設置に係る全ての国の補助事業は、園芸施設共済等への加入が要件となっています。

対象品目

ガラス温室、パイプハウス、雨よけ施設等

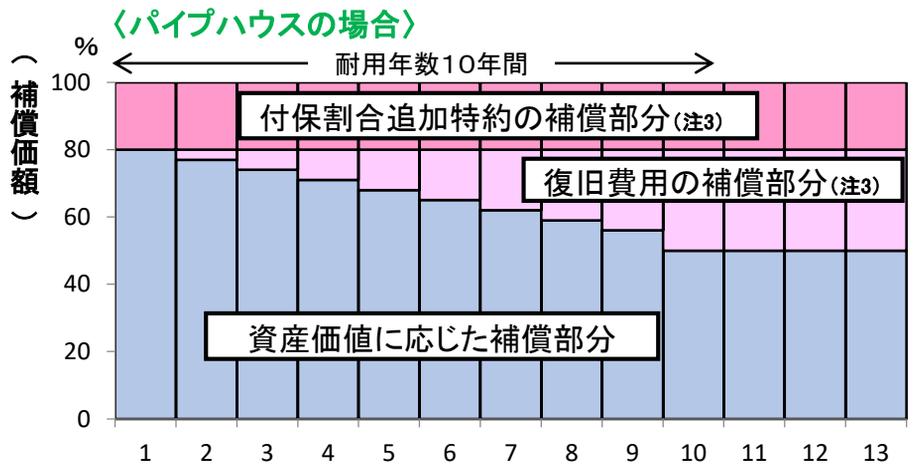
※ 付帯施設及び施設内で栽培される農作物についても、農業者の選択により対象にできます。

補償対象となる事故

風水害、ひょう害、雪害、その他気象上の原因による災害 等

主な補償内容

施設が損害を受けた場合に、施設の補償価額（資産価値）（注1）の4～10割（築年数や補償額上乘せ特約の活用により変動）の共済金を支払います（注2）。
※ 農業者の選択により、復旧費用の補償等も追加できます。



（注1）資産価値は、耐用年数の経過に応じて年々低減して評価します（100～50%）。（経過年数）

（注2）1棟ごとに、損害の額が3万円（又は共済価額の5%）を超えた場合（共済金支払下限）に共済金を支払います。なお、令和2年9月から共済金支払下限の選択幅が広がり、1万円を超える場合から補償が可能になりました（小損害不填補1万円特約）。

（注3）共済掛金の1/2は国庫が負担します。ただし、復旧費用、付保割合追加特約及び小損害不填補1万円特約の掛金は、農業者の全額負担となります。

2 集団加入等による割引について

令和元年6月から、集団加入等による新たな割引が始まりました。

【概要】

- ・JA、生産組合、集荷業者等と共済組合が、①共済の集団加入、②施設補修の促進等に関する協定を締結した場合 ～ 掛金及び事務費賦課金が割引となります。
- ・その他、補強した特定園芸施設の割引、補償範囲の選択による割引などを組み合わせると、最大で掛金を3割以下にすることも可能となります。

※ 園芸施設共済や収入保険の具体的な内容や加入手続き等については、お近くの農業共済組合にお問い合わせください。

農業用ハウスの自力施工の推進

農業用ハウス設置の自力施工を検討しましょう

- ・近年は、農業用ハウスの設置作業を事業者へ依頼するケースも増えていますが、多くの災害発生時などは、作業が遅れることがあります。
- ・そのため、自力施工を行うことも検討し、JA全農がホームページで公開している「パイプハウス建て方マニュアル」を参考にし、自力施工を行いましょ。
- ・また、地域の関係機関と連携し、講習会等の実施や相談を行いながら、自力施工をできるよう準備しておきましょう。

パイプハウス建て方マニュアル ～JA全農生産資材部園芸資材課～

JAグループ会員制営農情報提供サイト APPINES/AgrInfo内で公開

※本ページは非会員でも閲覧は可能です。

表紙

作業手順項目

パイプハウス建て方マニュアル

作業手順

作業前準備
設置場所の設定
パイプハウスの注文

1. アーチパイプ印付け
2. 地取り
3. パイプの配置
4. アーチパイプの接続
5. アーチパイプの立ち上げ
6. アーチパイプの埋め込み
7. 天井部桁行きパイプの取り付け
8. 肩部桁行きパイプの取り付け
9. 裾部桁行きパイプの取り付け
10. サイド部ビニベートルールの取り付け
11. 妻面パイプの取り付け（出入口の反対側）
12. 妻面ビニベートルールの取り付け

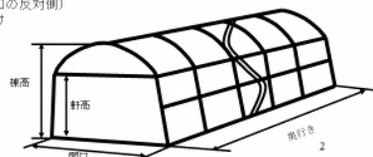
設置場所の選定

日当たりよく、風当たりが少ない
灌水用水源の確保
南北方向に建てる
道路からはなす
隣接ハウスから2 m以上離す
敷地が余るとき両側を残す

パイプハウスの注文

パイプハウスの大きさ（型式：間口 奥行き）
妻面の内容（出入口扉の型式）
筋交い（根からみパイプなど）

建て方に必要な人工数の目安
ハウスの奥行き÷3+2名人工



JA全農 生産資材部 園芸資材課

出入口の妻面の制作

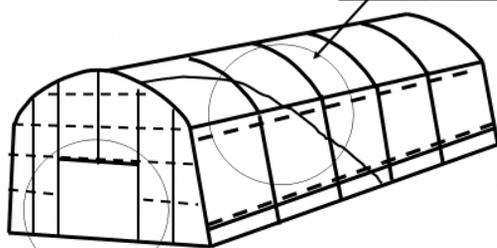
完成(全18ページ)

パイプハウス建て方手順

12. 出入口妻面の制作

逆側と同様の手順で作成するが、ドアセットにあわせてパイプを切り出し、作成する。
その後、必要に応じて筋交いを取り付ける。

筋交いを取り付ける



ドアセットを取り付ける

14

